

あなたはどうか考えますか...

白根市商業振興協議会(河内新平会長)が五十八年度事業として取り組んできた、『地域小売商業近代化対策調査』の結果がまとまりました。この調査は商業者、商店街、商工会、行政と地域が一体となって、白根市商業の近代化を今後どのように進めていくべきかを、いろいろな方向から分析・検討したもので、それぞれの分野での改善点などを提言しています。

今回の調査結果に示された実態を見ると、都市間の商圏競争はますます激しさを増しています。通信販売に見られるような新しい販売形態や、ホームセンター、インスタアペーカリーなどの新業態の登場で、消費者の嗜好も多様化の一途をたどっています。今月のクローズアップでは報告会での提言と、これからの対応について、関係者の座談会をまとめてみました。

「お店はだれのためにあるもの」 個店に四つの問題点を指摘

求められる経営体質の改善

商店の基本理念は、「店はお客のためにあるもの」ということです。現代風に言えば「消費者ニーズにあった店づくり」を常に心がけていくことが大切です。

商店街へ五十二年に第一種大型店のライオンロードが。その後、国道周辺へ第二種大型店が相次いで出店しました。

また、近隣の新潟市や三条市にも続々と大型店が出店するなど、

内外の環境変化は急速に進んできました。

こうした流れに白根市の商店、商店街はどのような対応をしていますか。調査のまとめでは、一部の商店、商店街では努力は見られるものの、全体としてはまだ十分な対応がなされていないとして

〔白根市商業振興協議会〕

この会は、白根市商業の振興と発展を推進するため、商店街の再開発、商業経営の近代化、合理化などの基礎的調査研究を行い、必要に応じて関係団体に意見具申することを目的としています。

構成は、商業者代表(十二人)市議会産業企業常任委員長、商工会役員、それに学職経験者として中小企業診断士がメンバーです。

商店街の振興

- ① 同業者が多く競合関係は厳しいが、業態、規模、店舗などに差が見られず、個性的な店づくりがされていない。
- ② 従来から白根、西蒲原地域の外販が主力で、店売りに対し消極的となり、店舗改装などの積極的投資がなされていない。
- ③ 町内会活動と商店街活動の区別が十分に理解されず共同事業に消極的。

④ 時代の流れに即応した経営体質づくりの研究改善努力が十分になされていない。などとして

そして「今後ともこうした問題点を放置し、消費者動向に対応した経営改善の努力がなされなければ、売り上げの停滞、地盤沈下はより一層深刻化する」との課題を投げかけています。

行政は商業振興のビジョンづくりを

一方、商業振興には商工会や市の指導的役割が極めて重要です。お互いに機能分担を明確にして、目的に向かい、商業者と一体となって進むことが必要と、協議会では報告しています。商工会の役割としては

- ① 商店街区の中で、商業集積の中心地区を策定し、地域商業者のコンセンサスを得ながらその機能充実を図っていく。
- ② 都市計画について理解し、予想される環境変化に対応できる柔軟な姿勢を持ち、都市計画に商業集積の中心地区の機能充実を図っていく。
- ③ ①②の事業を推進していくため行政、商業者とともに検討協議を行い、必要な助成制度や協力体制を確立して意見具申を行う。

また、市の役割として、単に金融面からの援助だけでなく、市の全体像の中から商業問題をとらえ、市の総合計画と整合性のある長期的な商業ビジョンを策定することを求めています。

(次ページへ)

